

# 高齢者おでかけ促進事業「シニア半わり」平成 29 年度末の現況と事業効果について

## 1. 現況

### 1). 概要

本市にお住いの 65 歳以上の方を対象に、専用のバス IC カード「シニア半わりりゅーと」や紙券「シルバーチケット」でバス運賃を精算することにより、運賃が半額となる高齢者おでかけ促進事業を平成 28 年 9 月から実施。

### 2). 目的

超高齢社会が進展するなか、高齢者のバス利用によるおでかけの促進と健康寿命の延伸、医療費の抑制などを目的に、市内在住の 65 歳以上の高齢者を対象にバス運賃を半額とするもの。

### 3). 事業費

年度	事業費	備考
平成 28 年度	14,509 万円	決算額
平成 29 年度	25,591 万円	決算額
平成 30 年度	25,685 万円	当初予算額

### 4). 参加状況

本市の 65 歳以上人口に占めるシニア半わり参加者数の割合は 15.6%。

シニア半わり開始年数	1 年目(12 ヶ月)	2 年目(7 ヶ月)
H28-H30	H29.8 月末	H30.3 月末
シニア半わり参加者数 (A)	33,624 人	35,327 人
65 歳以上人口 (B)	224,367 人	226,396 人
参加率 (A/B)	15.0%	15.6%

### 5). 利用状況

1 人あたりの乗車回数は 1 年目と比較すると、0.4 乗車増加している。  
(H28 と H29 の 10 月を比較)

シニア半わり開始年数	1 年目	2 年目
H28-H30	H28.10	H29.10
シニア半わり実利用者数 (A)	18,924 人	23,183 人
シニア半わり乗車回数 (B)	174,602 乗車	221,677 乗車
1 人あたりの乗車回数 (B/A)	9.2 乗車	9.6 乗車

## 2. 事業効果【アンケート調査より】

### 1). アンケート調査概要

■調査目的：シニア半わりの参加者と、シニア半わりに参加していない 65 歳以上の市民に（非参加者）に対して、健康寿命の延伸などに関してアンケート調査を実施し、事業効果の検証を行った。

■実施日：平成 29 年 10 月 25 日～11 月 8 日までの 15 日間。

■調査方法：郵送による配布、回収。

■調査対象者：以下のとおり、参加者は平成 29 年 7 月末時点のシニア半わり参加者名簿から、非参加者は平成 29 年 7 月末時点の住民基本台帳から無作為抽出。

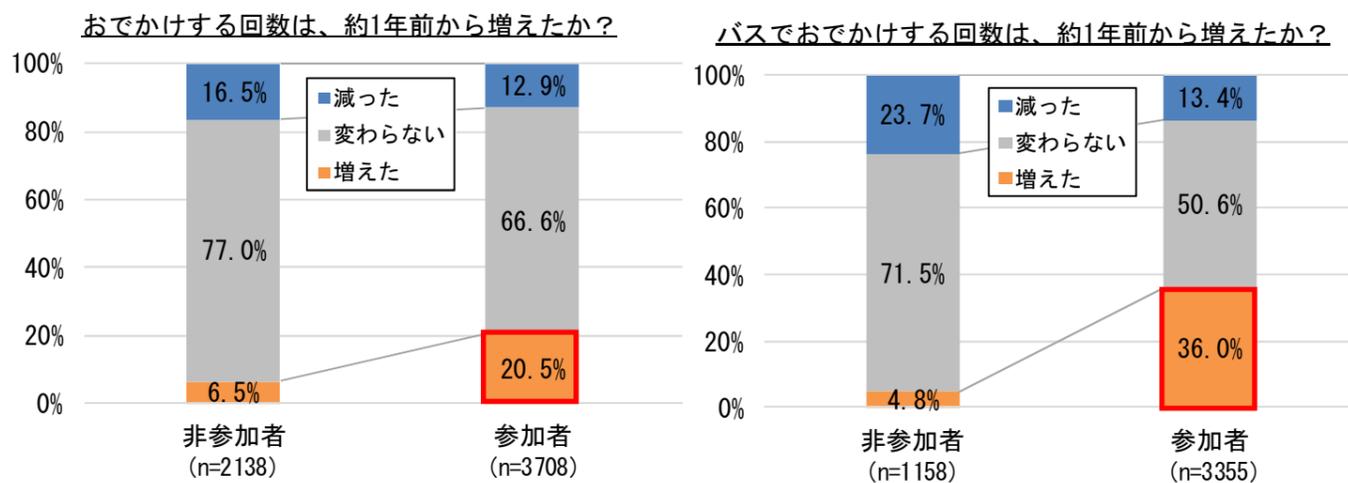
	配布数(抽出数)	回答数	回答率
参加者	約 5,200 人	約 4,000 人	約 77 %
非参加者	約 6,200 人	約 3,400 人	約 55 %
合計	約 11,400 人	約 7,400 人	約 65 %

### 2). アンケート調査結果

#### ① おでかけ回数の増加

シニア半わりの参加者のうち、20.5%の人がおでかけする回数が増えている。

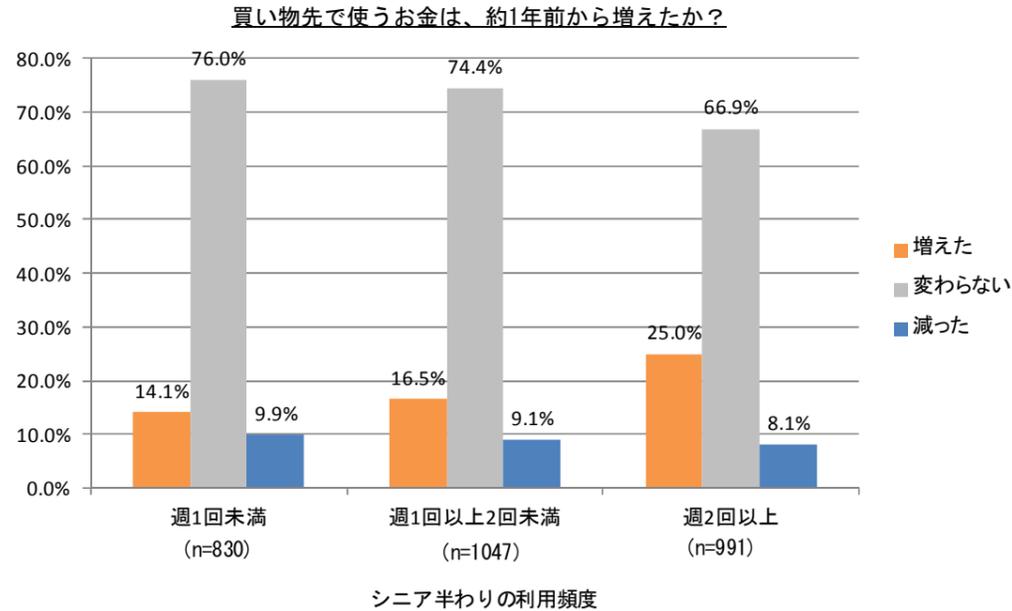
シニア半わりの参加者のうち、36.0%の人がバスでおでかけする回数が増えている。



参加者のアンケート結果

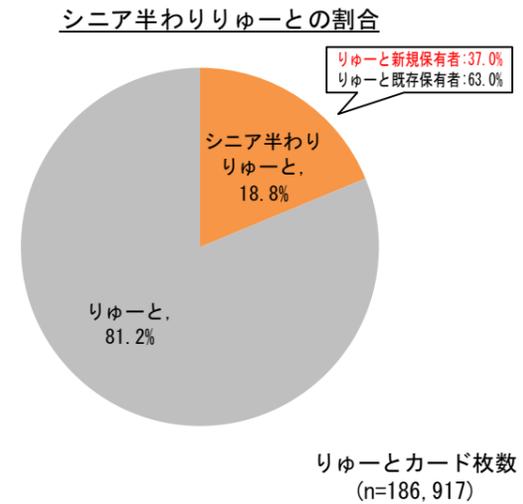
② 買い物消費額の傾向（参加者）

シニア半わりの利用回数が多い人ほど、**買い物消費額が増えている。**



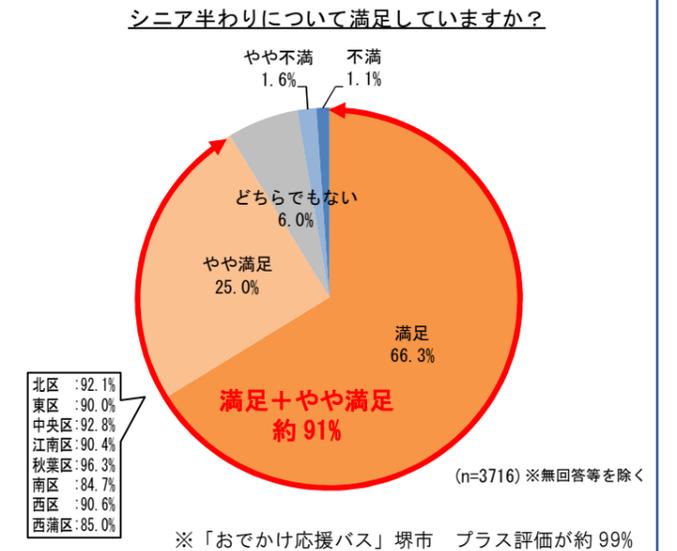
④ ICカードの普及（参加者）

シニア半わりりゅーとは、りゅーとカード全体の18.8%を占めている。そのうち、参加者の**37.0%**がシニア半わりをきっかけでICカード「りゅーと」を保有し、ICカードの普及に寄与している。



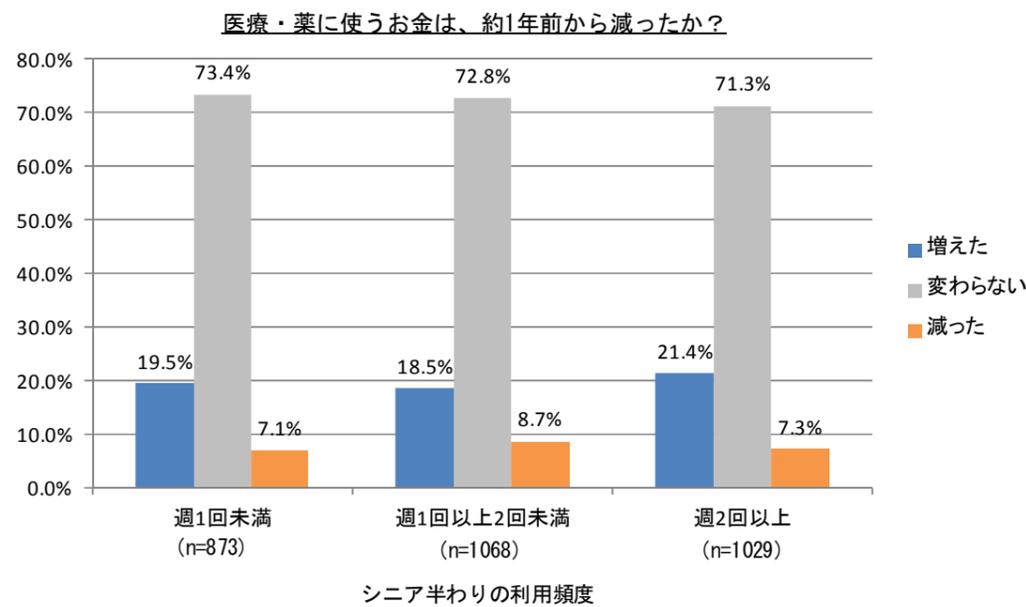
⑤ 本事業についての満足度（参加者）

参加者の**約91%**が満足またはやや満足と回答しており、他都市の類似事例\*と同様に、本事業への満足度は高い。



③ 医療費支出の傾向（参加者）

シニア半わりの利用回数によらず、**医療費支出は増えている。**（通院する機会が増加していることに起因されると考えられる。）



非参加者のアンケート結果

⑥ 本事業への参加意向（非参加者）

シニア半わりを利用していない方のうち、シニア半わりを知らない・手続きが面倒そうといった回答が約1割ずつあった。（利用方法等を分かりやすく広報及び周知し、さらなる利用者の拡大を図る。）

シニア半わりを利用しない理由

- バスを利用しない（利用が少ない）ため・・・69.3%
  - シニア半わりを知らないため・・・**15.2%**
  - 聞いたことはあるが内容を知らないため・・・**10.6%**
  - 手続きが面倒そうのため・・・**8.4%**
  - おでかけ定期券を利用しているため・・・1.5%
  - その他・・・8.9%
- 参加者になりうる層

■まとめ

参加者数、乗車回数ともに増加傾向にあるほか、当該事業の目的である高齢者のバス利用による「おでかけ回数の増加」、「まちなかの活性化に寄与する買い物消費額の増加」、「当該事業の満足度」などの効果が現れつつあることが確認できた。